

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、年度末を挟む週となったことで無担保コールO/N加重平均レートが大幅に低下し、新年度入りした後もレートが弱含む展開となった。なお、3月31日の日銀当座預金残高は201兆5,600億円となった。30日は、T+1のGCレートが極端に低下したことから、保険・投信の資金がインターバンク市場に流入し、T/Nは0.001~0.02%の出合いが中心となった。31日のO/Nは、朝方0.001%の出合いで始まり、その後0.005%まで反転する場面もあったものの、終日弱含むの展開であった。31日の無担保コールO/N加重平均レートは、最高レート0.075%、最低0.001%、平均レート0.015%とった。4月に入ってから、月末の弱さを引きずったものの、大手行から0.05%のビッドが入ったことでレートは戻り傾向となり、加重平均レートも0.05%台後半まで上昇した。ターム物は、31日以前は既に月末越えの資金調達が一服していたため、低調な出合いであった。新年度入りした後は大手行からの調達が見られた。固定金利方式の共通担保資金供給オペは、4月2日に3M・8,000億円でオファーされ、2,251億円(期落ち分2,400億円)と札割れの結果となった。

今週のインターバンク市場は、6日が10Y発行要因で大幅な資金不足日となる。また、金額はさほど多くないものの、6日に恩給の支払い、10日に出納整理期間の払いが見込まれる。国債買入オペの実施を加味すれば、週全体では大幅な資金余剰となる見通し。主なイベントとしては、7~8日の金融政策決定会合、8~9日のMPC等が挙げられる。

2. オープン市場

先週の短国市場は、受渡日が新年度入りしたものの、様子見姿勢の参加者が多く、全般的に閑散な地合いであった。4月2日には3M物の入札が実施された。発行減額(57,000億円→54,000億円)に加え、今回から応札額の上限が発行予定額の2分の1に変更されたことで注目が集まる中、平均落札利回り0.0092%、最高落札利回り0.016%と事前予想より若干しっかりした結果となった。入札後にはショートカバーが散見された。3日に実施された短国買入オペは、20,000億円でオファーされ、按分落札利回り較差+0.002%、平均落札利回り較差+0.004%、按分率30.5%という結果となった。日銀発表の資料等を勘案すると、引け値が強い1Y物の応札が中心と考えられる。

先週のCP市場は、事業法人が3月末のバランスシート調整を目的として大幅に残高を落としたため、3月末の発行総残高は14兆2,000億円程度と大きく落ち込み、商社や鉄鋼・電機業態の一部では発行残高がゼロとなる発行体も見られた。なお、昨年の3月末の発行残高は、12兆6,000億円程度。新年度に入った後は事業法人によるまとまった発行が活発に見られたため、週末時点での残高は、14兆8,000~9,000億円程度と積み上がりが見られた。発行レートは、市場参加者の買いが強く、a-1+格で0.07~0.08%台、a-1格は0.08~0.09%台後半と目線を下げた形となっていた。

今週の短国市場は、7日に6M物、9日に3M物の入札が予定されている。プラス圏では投資家の買いも見込まれるため、引き続き堅調な結果が予想される。CP市場は7日にCP等買入オペが予定されている。前回実施分は期末要因から足切りが大きく流れる結果となったが、今回は期末要因が無い場合、按分利回りは大きく上昇するものと予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で3,000億円程度の還収超見通し。財政資金は、6日の10Y発行を中心に2兆9,900億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で2兆6,900億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<6日>TB3M;償還52,700億円・発行54,000億円 / 10Y;発行24,000億円 <9日>流動性供給;発行4,000億円 <10日>TB6M;償還20,000億円・発行35,000億円 / 個人向け10Y;償還23,300億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
4/6(月)	2,000	△ 28,900	△ 26,900	全店共通(固) CP買入	△ 2,400 △ 400	2,300	△ 500	△ 27,400
4/7(火)	1,000	△ 1,000	0	短国買入 国債買入		20,000 11,500	31,500	31,500
4/8(水)	1,000	2,000	3,000				0	3,000
4/9(木)	0	△ 2,000	△ 2,000				0	△ 2,000
4/10(金)	△ 1,000	0	△ 1,000	CP買入		4,000	4,000	3,000
週間合計	3,000	△ 29,900	△ 26,900		△ 2,800	37,800	35,000	8,100

(注) 上表の4/6は日銀予想、4/7以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
4/6(月)	2月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)		3月のISM 非製造業景況指数 3月のFRB 労働市場情勢指数 欧州・英国祝日(Easter Monday)
4/7(火)	3月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~)	TB6M 35,000億円 4/10発行	2月の米消費者信用残高
4/8(水)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 2月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 3月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)		MPC(英中銀金融政策委員会,1日目)
4/9(木)	金融経済月報(日銀 14:00)	TB3M 54,000億円 4/13発行	MPC(英中銀金融政策委員会,2日目) 2月の米卸売売上高
4/10(金)		エネルギー 対策借入 5,000億円 4/20借入	3月の米財政収支

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。